

人々の交流と、地域の活性化を支える「地域公共交通の維持・活性化」に関する宣言

地域公共交通は、日々の生活のための移動を支える、多くの人々にとって不可欠な交通手段です。しかし、人口減少に伴う利用者の減、運転士不足、新型コロナウイルス感染症の影響や交通手段の多様化が進む中で、極めて厳しい経営環境に直面しています。

地域公共交通は、高齢者や障害者、学生など、いわゆる交通弱者の交通手段として必要不可欠です。公共交通が無くなれば、これらの人々は交通手段を失い、社会から孤立することが懸念されることから、地域社会全体の包摂性を高めるためにも、公共交通の維持・活性化が必要です。

また、地域公共交通は地域経済活動の基盤でもあります。地域内での移動が困難な場合、企業や商業施設の集客が難しくなり、地域の経済活動が停滞するおそれがあります。一方で、公共交通の充実は、地域へのアクセス性を高め、新たなビジネスチャンスを生み出します。

さらに、地域公共交通を維持・活性化し利用者を増加させることは、渋滞の減少や騒音の軽減、カーボンニュートラルの推進など、環境への負荷を低減させます。これは、持続可能な地域社会を築くために欠かせない要素です。

中部圏知事会は、日本の中心に位置し、様々な交通の結節点である地勢的環境を生かし、中部圏における地域活性化や持続的成長を実現するため、9県1市がより一層連携して、次の取組を強力に推進することを宣言します。

- 1 地域コミュニティと連携し、地域の特性に合った地域公共交通ネットワークを構築すること。
- 2 自動運転、MaaS等の新たな技術や取組を取り入れながら交通手段の多様化や効率化を促進し、利用者にとってより利便性の高い公共交通ネットワークを構築すること。
- 3 リニア中央新幹線の全線開業や北陸新幹線金沢・敦賀間開業による中部圏一帯の交通ネットワークの変化を見据え、各地域へのアクセス性を高め圏域における交流を促進すること。
- 4 各地域がそれぞれの創意工夫のもと、地域の実情に応じた利用促進を図るなど、将来にわたり持続可能な地域公共交通に向けた取組を進めること。

令和5年(2023年)10月18日
中部圏知事会